

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	82	学校名	仙台市立大沢小学校	校長名	高橋 昌子
------	----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル、テーマ
「大沢小の豊かな自然」プロジェクト



2 取組の紹介

大沢小学校は学校の周囲に田園が広がり、遠方には山々がそびえ立つ豊かな自然の中に立地しています。3年前に「コロナ禍でも子供たちが元気いっぱい過ごせるように」と、地域の方がプール脇に25mほどの大きな花壇を作ってくださいました。令和3年度、その花壇を「150周年記念花壇」として整備工事を行い、更に環境を整えました。今年度は、環境委員会がサルビアやバーベナ、マリーゴールドの苗を植えました。



秋には、環境委員会が、次年度の1年生を迎えるための花を植えました。今年度は、葉ボタンやチューリップ、パンジー、クロッカスを植え、4月の花壇が色鮮やかになるよう、準備しました。

大沢小学校の取組の大きな特徴として、5年生の田植え、稲刈り活動があります。宮城県でもたくさんの米が収穫される大沢地域の田んぼの一角をお借りし、JA 仙台農協青年部宮城支部の方々や地域の皆様のご協力をいただいて、毎年田植えや稲刈りの活動を行っています。また、収穫した米は自分たちで小さな袋に詰め、「大沢米」のラベリングをして、お世話になっている学校ボランティアの方々に配付したり、給食で食材として使用し、おいしくいただいたりしています。取組を通して、田植えや稲刈りをする大変さや収穫した米のありがたさを学んでいます。



3 取組の成果（児童生徒の変容）

自然豊かな大沢地域の特色を生かした取組を通して、校庭で遊ぶ子供たちが、プール脇の花壇の花から春夏秋冬を感じたり、植物を大切にしようとする気持ちを持った様子が見られました。また、広大な土地と大倉ダムからのきれいな水が流れる環境での農業体験活動は大沢小学校ならではの活動です。田植え、収穫だけでなく、総合的な学習の時間において、稲を育てる過程や育てるために大切なこと、苦勞することや人々の願いなど様々なことを学び、食べ物を育てる大変さや食への感謝を学ぶことができました。